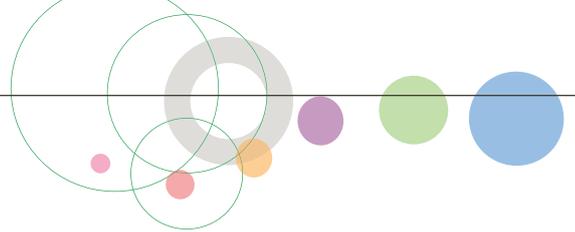


環境経営の基本方針

環境に配慮した製品の開発・製造・販売を通じて
 広く社会に貢献します。



■ 環境・品質保証担当役員のメッセージ

このたびの東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。想像を超えた災害に遭遇し、改めて地球環境を守り、共存可能な社会を築いていくことの重要性を強く認識することとなりました。企業にとって、環境への取り組みは社会の重要な要請となっております。

このような中で、当社は環境対応技術の開発に取り組み、環境を守り、環境に貢献する商品開発に努めてまいりました。水性塗料、粉体塗料をはじめ省工程、低温硬化、高耐久性の塗料や室内環境対応形塗料、さらにはエネルギー消費を抑制する遮熱塗料など多くの環境配慮形塗料を市場に展開し、お客様より高い評価を戴いております。また、ISO9001とISO14001を品質と環境のマネジメントの基礎として、研究開発から原料調達・生産・流通販売・塗装を経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体での環境影響を最小としつつ、その品質を保証するシステムを構築しております。

当社は、日本レスポンシブル・ケア協議会（現日本化学工業協会RC委員会）の設立発起人会社として、レスポンシブル・ケア（RC）活動を推進してまいりました。化学物質を取り扱う企業として「環境・安全・健康」を最優先課題としてRC活動に取り組み、その活動成果を公表し社会との対話・コミュニケーションを行っております。

今後も法令・規則を順守し、環境・安全・健康に配慮した企業活動を地域社会とともに進めてまいります。



取締役専務執行役員 管理本部長 瀬古 宜範

環境方針

大日本塗料株式会社は、「環境負荷が小さく持続可能な社会を築いていくことが重要である」との認識のもと、地球規模の環境保全活動を継続的かつ着実に推進しながら、塗料及び関連製品の開発・製造・販売を通じ社会に貢献する事を基本とする。活動は、以下の環境方針に基づき全員が一致協力して行う。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 製品の研究開発から生産・販売・サービスを経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体に渡り、事業活動から生じる環境への影響を常に的確に評価・把握できる環境マネジメントシステムを確立し、実施し、環境汚染を予防する。 ② 環境マネジメントシステムを実施、維持し、PDCAサイクルによる継続的改善を図る。 ③ 事業活動、製品及びサービスに係わる環境関連法規制、並びに当社が同意するその他の要求事項を遵守することを約束する。 ④ 環境保全推進のため、次のテーマを重点的に取り組む。これらの活動は、環境方針に基づき、目的・目標を立て計画的に実施すると共に、内容を定期的に見直し、改善する。 | <ul style="list-style-type: none"> 1. 環境負荷低減を可能にする塗料及び関連製品の開発、販売 2. 揮発性有機化合物の適切な管理と削減 3. 産業廃棄物の発生抑制とリサイクル促進 4. 省エネルギー並びに地球温暖化防止活動 ⑤ 環境方針は文書化し周知徹底すると共に、グループ会社を含めた全従業員（パート、派遣者等を含む）に対し環境教育を行うと共に、当社の事業活動に関与する人も含めて、環境保全に対する理解と意識の向上を図る。 ⑥ この環境方針は一般に公開する。 |
|---|--|